

建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

1. 関西福祉大学の建学の精神・基本理念

(1) 建学の精神

関西福祉大学(以下、「本学」という。)を設置する学校法人関西金光学園(以下、「学園」という。)は、大正15(1926)年に創立した私立静徳高等女学校をその起源とし、学制改革による設置校の合併や名称の変更を経て、本学以外に中学校2校、高等学校3校を設置している。これらの各学校においては、「人は皆等しく神の氏子である」という金光教の教義に基づき、教育を推進してきた。本学は、この教育実績と経験を基盤として設置したものであり、以下の3つを建学の精神としている。

「人間平等」 「個性尊重」 「和と感謝」

また、この建学の精神は、次に記載する4つの基本理念の第一番目に、教育を展開していく上での基盤的事項として位置付けている。

(2) 基本理念

本学は、「福祉社会をつくる人間を育成する人間教育」と「地域に密着した社会福祉研究の推進」を設置の趣旨として開学し、それを具現化するために、以下の4つを基本理念として掲げている。

- 1) 「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」の精神に基づく真(まこと)の教育
- 2) 福祉の心を持ち未来の福祉社会を創造する人材の育成
- 3) 地域社会の発展に貢献する開かれた大学
- 4) 大学の理念を実現する高い学術研究と教育活動

そのめざすところは、広く保健・医療・福祉に携わる有用な人材を育成すること、地域の福祉社会の建設、教育の振興及び学術、文化の向上に寄与すること、地域社会の住民にさまざまな学習機会を提供する生涯学習機関としての役割を果たすことである。

2. 本学の使命・目的

本学は、金光教の教義に基づく建学の精神に則り、豊かな人間性と深い専門性を備えた社会に貢献しうる有能な人材を養成し、保健・医療・福祉に関する理論的、実践的研究を進め、学術、文化の進展に寄与することを使命・目的としている。

その使命・目的に照らし、次のような目標を掲げている。

- 1) 広く保健・医療・福祉に携わる有用な人材を育成する。
- 2) 保健・医療・福祉の連携を強化し、より総合的に援助できる人材を育成する。
- 3) 教育の振興及び学術・文化の向上に寄与する。
- 4) 地域との共同研究、調査等の活動を通して、地域全体の活性化に寄与する。
- 5) 大学が所在する兵庫県赤穂市を中心とする地域で福祉社会の建設に寄与する。
- 6) 地域社会の住民にさまざまな学習機会を提供する生涯学習機関としての役割を果たす。
- 7) 地域住民のQOL(Quality of Life)の向上及び地域社会の発展と向上に貢献する。

3 . 本学の個性・特色

本学は、平成 21(2009)年度で開学から 13 年目を迎えたが、この間、一貫して、建学の精神と基本理念を踏まえた教育・研究活動を展開してきた。また、本学は、兵庫県赤穂市との公私協力方式で開学したこと及び基本理念に掲げた「地域社会の発展に貢献する開かれた大学」であることを強く意識しながら、兵庫県赤穂市との協調・協同関係の構築、地域社会との良好な関係の維持及び地域社会への貢献に特に力を注いできた。そのなかで、地域との連携・貢献を通じて、地域から必要とされる大学をめざし、実践していることが本学の個性・特色である。

例えば、兵庫県赤穂市との連携の枠組み作りのために、平成 15(2003)年度に同市において、「赤穂市と関西福祉大学との連携推進会議設置要綱」が制定され、市長、市部長職、学長、附属機関長等を構成員とする会議が設置された。これにより、赤穂市役所におけるインターンシップや共同研究が実施されている。

また、兵庫県赤穂市が設置する各種委員会や審議会及び地域の福祉関係機関等にも教職員や学生を派遣する等、人的貢献も行っている。さらに、地域で実施される大小さまざまな規模の各種行事等に学生が参加できる体制作りを通じて、地域と継続的、恒常的に緊密な関係を維持している。

さらに、本学は、地域に開かれた大学として、積極的に地域活動を行うことを目的として、附属地域センターを設置している。同センターは、臨床福祉サービス（相談活動）、コミュニティ実践（地域福祉活動）、オープン化事業の 3 つを柱として各種活動を展開している。

教育面では、「地域をテキストとして学ぶ」を基本的なコンセプトとして、学生が地域の人々に対する聞き取り調査や実践を通して、観察力・分析力を高める「演習・コミュニティアワー」を開学以来実施する等、教育のなかにおいても地域とのつながりを重視している。この「演習・コミュニティアワー」の 1 年間の成果は、報告会の開催を通して、福祉施設等の関係者や市民にも公表している。

また、地域との連携を強めるとともに、学生が自分たちの学ぶ大学が所在する赤穂市や地域についての理解を深めること等を主な目的とする「特講(D)(赤穂学)」を開講している。看護学部も設置と同時に「赤穂学」を開講している。

今後も、今までの実績の上に、これらの取り組みのより一層の充実を図り、かつ福祉と看護の両分野が連携しながら実施できる、地域への貢献の新しいかたちを模索し、特色のある個性輝く大学として着実な前進をめざしていく。